



CHAPTER 1

Cisco Unity Connection 8.x クラスタの設定

この章は、次の項で構成されています。

- 「Cisco Unity Connection 8.x クラスタ設定のタスク リスト」 (P.1-1)
- 「Cisco Unity Connection 8.x クラスタの設定」 (P.1-2)
- 「8.x でのサーバ ステータス変更のアラート通知の設定」 (P.1-2)
- 「8.x のクラスタ設定のカスタマイズ」 (P.1-3)

Cisco Unity Connection 8.x クラスタ設定のタスク リスト



注意

Cisco Unity Connection クラスタは、『*Installation Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』に従って、パブリッシャ サーバをインストールし、管理者ワークステーションを設定した後にのみ設定してください。

記載されている順番で次のタスクを実行し、Cisco Unity Connection クラスタを正しく設定してください。

1. パブリッシャ サーバで、サブスクリバ サーバのホスト名または IP アドレスを追加して Connection クラスタを設定し、パブリッシャ サーバが機能していないときに使用するアラート ログへのアクセスを有効にします。「Cisco Unity Connection 8.x クラスタの設定」 (P.1-2) を参照してください。
2. サーバ ステータス変更のアラート通知を設定します。「8.x でのサーバ ステータス変更のアラート通知の設定」 (P.1-2) を参照してください。
3. オプション: クラスタ設定を調整します。「8.x のクラスタ設定のカスタマイズ」 (P.1-3) を参照してください。
4. 『*Installation Guide for Cisco Unity Connection Release 8.x*』の「Task List for Installing a Cisco Unity Connection 8.x System with a Connection Cluster Configured」の「Part 3: Configuring the Cluster, and Installing and Configuring the Subscriber Connection Server」ある次のタスクを続行します。

Cisco Unity Connection 8.x クラスタの設定

クラスタは、パブリッシャ サーバのインストール後に設定します。

この項の 2 つの手順を、示されている順序で実行します。



(注)

Cisco Unity Connection クラスタ機能は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition との使用ではサポートされていません。

Cisco Unity Connection 8.x クラスタを設定するには

- ステップ 1 パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection の管理にログインします。
- ステップ 2 Connection の管理で [システム設定 (System Settings)] を展開してから、[クラスタ (Cluster)] を選択します。
- ステップ 3 [サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ページで [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 4 [新規サーバ設定 (New Server Configuration)] ページの [ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)] フィールドにクラスタの第 2 サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ステップ 5 オプション: [MAC アドレス (MAC Address)] フィールドに第 2 サーバの MAC アドレスを入力します。
- ステップ 6 [説明 (Description)] フィールドに「Server 2」などの第 2 サーバの説明を入力します。
- ステップ 7 [保存 (Save)] を選択します。

8.x パブリッシャ サーバが機能していない場合にアラート ログへのアクセスを有効にするには

- ステップ 1 Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[サービス パラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2 [サービス パラメータ (Service Parameters)] ページの [サーバ (Server)] フィールドでパブリッシャ サーバを選択します。
- ステップ 3 [サービス (Service)] フィールドで、[Cisco AMC サービス (Cisco AMC Service)] を選択します。
- ステップ 4 [フェールオーバー コレクター (Failover Collector)] フィールドで、サブスクライバ サーバを選択します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。

8.x でのサーバ ステータス変更のアラート通知の設定

次の Cisco Unity Connection アラートの通知を送信するように、Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool を設定することをお勧めします。

- AutoFailbackFailed
- AutoFailbackSucceeded
- AutoFailoverFailed

- AutoFailoverSucceeded
- NoConnectionToPeer
- SbrFailed

Connection アラートのアラート通知を設定する手順については、
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html にある『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』の「Working with Alerts」の章（「Alerts」パート）を参照してください。

8.x のクラスタ設定のカスタマイズ

8.x のクラスタ設定をカスタマイズするには

- ステップ 1** パブリッシャ サーバで Cisco Unity Connection の管理にログインします。
- ステップ 2** Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] を展開し、[クラスタ設定 (Cluster Configuration)] を選択します。
- ステップ 3** [クラスタ設定 (Cluster Configuration)] ページで、該当する設定を変更します。

レプリケーションが未処理のまま保留になっている場合は、セカンダリ ステータスのサーバをデアクティベートする (Deactivate server with Secondary status when replication is backlogged)	<p>このチェックボックスをオンにすると、レプリケーション バックログ条件によって、[セカンダリ (Secondary)] ステータスのサーバが [非アクティブ化 (Deactivated)] に変更されます。</p> <p>このチェックボックスをオフにすると、レプリケーション バックログ条件によって、[セカンダリ (Secondary)] ステータスのサーバのステータスは変更されません。</p> <p>デフォルトでは、オフになっています。</p>
パブリッシャ サーバで障害が発生した場合は、自動的にサーバのステータスを変更する (Automatically Change Server Role When the Publisher Server Fails)	<p>このチェックボックスをオンにすると、パブリッシャ サーバの障害によって、[セカンダリ (Secondary)] ステータスのサーバが自動的に [プライマリ (Primary)] に変更されます。</p> <p>このチェックボックスをオフにすると、パブリッシャ サーバで障害が発生しても、[セカンダリ (Secondary)] ステータスのサーバのステータスは変更されません。サーバのステータスを手動で変更する必要があります。</p> <p>デフォルトではオンになっています。</p>

- ステップ 4** [保存 (Save)] を選択します。

